



# 和光の緑と湧き水だより 会報 Verda 191号

NPO 法人 和光・緑と湧き水の会 代表理事 高橋 048-462-9912

身近な自然を知って守り伝えよう <http://wako-wakimizu.org/>

一緒に自然に親しみ、ボランティア活動をしましょう 会員募集中

## 2018年度NPO活動支援事業特集

	7月	8月	9月	11月
予定	14日 和光の自然と歴史勉強会 白子コミセン 14:00~16:00	夏休みボランティア体験 (富澤湧水(11日) 樹林公園(20日) 大坂ふれあいの森(22))	8日 親子生き物観察会 20日 お茶の水女子大学地理学巡検	17日 セミナー(仮称) 和光の緑と湧き水を次世代に残すために “考えよう和光のトラスト”

### 1. 和光の自然と歴史勉強会報告

#### ～和光の遺跡発掘現場から および 縄文時代の気候・自由討議～

7月半ばの最高気温38度猛暑日にもかかわらず、近隣の新座市や都内からの参加者もあり大盛況の勉強会でした。講師として和光の遺跡を発掘し詳細な報告書作成まで手掛けて



おられる前田秀則氏に講演をお願いしました。和光の自然の特徴的な湧き水の存在は、古代、縄文時代の遺跡の存在にもつながりがあることに驚かされました。富澤湧水から近い台地上部に縄文の遺跡があり、大坂ふれあいの森の湧水近くの台地上部のへりあたりにも縄文遺跡が見つかっていると知らされました。ロマンあふれるお話でした。この会の後半では、当会の理事高橋勝緒さんの「縄文時代の気候」についての解説がありました。気候変動からこの時代を考察すると、1万年の間温暖な気候が継続し、縄文海進と言われる、

氷河が解けて海面が今より数メートル高く、和光にも海水が入り込み貝塚が出来た時代があり、湧水も使われていた様子があり一定期間定住できる土地であった事が解りました。新しい発見がある勉強会となりました。終了後、参加者に白子の富澤湧水を案内し湧き水を紹介しました。

発掘された縄文土器は第四小学校内の資料室に保管され一般には見られない状態です。縄文土器の展示場での公開、それと同時に和光の自然環境、湧水地の紹介と気候のお話などが簡潔に展示公開できるところが必要ではないかと思えます。パネルにまとめ縄文の発掘土器とともに展示されるといいと思えます。



前田氏「和光の遺跡発掘から」



勉強会会場の様子



高橋氏「縄文時代の気候」

## 2. 11月17日予定のセミナー開催：中央公民館会議室 13:00～16:30 予定 仮称 和光の緑と湧き水を次世代に残すために ～ 考えよう和光のトラスト～

貴重な自然を次世代に残すためのトラストなど、新制度を模索するセミナーを開きます。行政と一般市民の方の参加を期待し、制度面の構築ができることを目的としています。

和光市は武蔵野台地末端部の特徴を備えた湧き水があり、斜面林と一体となっています。特に白子地区は、熊野神社、富沢湧水、大坂ふれあいの森に緑と湧き水があり、湧水群が連なって白子湧水群を形成しています。白子地区は東京都から近く、都市部のオアシスとして貴重な自然環境となっています。しかしながら、ここ2年余りで都市部の自然は開発が進み、緑と湧き水が次々と消失し貴重なカタクリ自生地も失われました。

和光のような都市部に残る緑地は、小規模な面積で、県のトラスト制度に当てはめることは困難です。和光の宝「緑と湧き水」を次世代に残せるように制度面を皆さんで考えていこうという企画です。ぜひ多くの方々のご参加を期待したいと思います。



富沢湧水（白子宿特別緑地保全地区）



今年の春に失われたカタクリ群生地（30年最後の観察会）

## 3. お茶の水女子大学地理学巡検 予定 9月20日

一日巡検 都市部の身近な自然と歴史を訪ねて

—和光市～成増の湧水・自然環境保全—

長谷川直子先生（お茶の水女子大准教授） & NPO 法人 和光・緑と湧き水の会

「和光市には多くの湧水が存在し、また貴重な植物も残されています。これらの湧水や植物を実際に見て回ります。またこれらの環境を保全する NPO 団体が活動しています。今回はこの NPO の方々と一緒に現地を回り、保全活動に関してもお話を伺います。また、白子宿などの歴史的スポットも残されているので、これらも回ります。貴重な地層が見える露頭もあります。そこから湧き水が湧いています。都市周辺部でこれらの貴重な自然が残されていることを知ってもらいたいと思います。」（学生向けの参加募集より）

日程：2018年9月20日（木）（極端な悪天候の場合には前日の17時の判断により中止）

行程 10:00 東京メトロ（有楽町線、副都心線：東上線ではありませんので注意！！）成増駅改札口（和光市よりの出口）外に集合→旧川越街道を通り新田坂→白子橋→地福寺（湧き水、白子宿の最も古いお寺）→白子宿→富沢湧水、レキ層と湧水の湧き出る地層、現在も湧水が生活に使用されている様子を見学、白子湧水群の湧水組合の古文書回覧→12:30 白子コミュニティセンターにて昼食、13:00 NPO 活動の講演会「和光市湧水環境調査の概要と会の活動」→14:00 熊野神社不動滝、富士塚→大坂ふれあいの森、関東ローム層、湧き水に関係する斜面林の生態系→白子の滝（東京都に面したグリーンベルト地帯・急な斜面林が連なり湧水が点在する。斜面にはカタクリなど春植物群生地）→16時頃成増駅解散予定